

# 突撃！企業インタビュー！

学生目線で企業を紹介

学生の山品さんと奥さんが呉市の元気な企業を訪問。就職活動を目前に控えた学生の目線で企業を紹介していただきます！

## 山品 大河さん

呉工業高等専門学校 建築学科4年 在学中

小さい頃からものづくりに興味があり、中でも特に、建築物が建てられていく過程を考えた見たりするのが好きです。将来も建築に携わりたいと考えています。



インタビュー

## 奥 友菜さん

広島大学 教育学部 第4類 人間生活系コース3年 在学中

呉市育ちで、西日本豪雨で被災した際には、地域の人たちに助けられ、あたたかさを感じました。そのような呉の魅力を伝えていきたいと思っています。



## 株式会社増岡組

【企業概要】

明治47年に広島県呉市で創業しました。平成20年には創業100周年を迎え、世界遺産 厳島神社の修繕工事、旧広島市民球場、新球場マツダスーパースタジアム広島、また大和ミュージアムなど広島・呉を代表する建築物を残しています。また、東京にある鉄鋼ビルディングさらにベトナムでは、ハイズオンガーデンなど世界へも活躍の場を広げています。



学生：山品 大河さん

対応者：津村 慎平さん

**Q. 貴社は広島県を中心に活躍されているという印象を受けましたが、他にも重視している地域はありますか。**

**A.** 東京です。弊社は、東京支店があります。規模は広島ほどではありませんが、重視している地域です。

**Q. 働く中で、やりがいを感じるのとはどんな時ですか。**

**A.** 建物が完成した時にやりがいを感じます。何もない状態から始まり、建物が完成した時は、大変だったことや失敗したこともありましたが、頑張ってきたことが達成感とやりがいを感じます。

**Q. 今まで苦労したことや、大変に感じたことはありますか。**

**A.** 苦労したことは、職人さんに指示をすることです。職人さんとやり取りをする時も、自分の知識がなく何を言っているのかが理解できなかつたりして、判断ができなかつたりということがよくありました。現場を管理する上で必要な知識は、実際に経験して覚えていくことがほとんどで、一つの工事内容でも進め方は様々あります。どの方向性でいくのかを職人さん達とコミュニケーションをとりながら判断し、指示をするからには知識を身につけなければならぬため、とても大変だと感じています。

**Q. その苦労したことをどのように乗り越えましたか。**

**A.** 特に1年目、2年目では、分からないことはばかりなので、実際の経験として見て覚えました。それから分からないことは、自分で調べたり、先輩や実際に施工する職人さんに聞いたりして、自分の知識を増やしていくことで、少しずつ指示を出せるようになりました。

**Q. 採用するに当たり、どこを重視していますか。また、どのような人材を求めていますか。**

**A.** やる気と協調性が大切ですが、肉体的にも精神的にもタフな方です。施工管理という仕事は、様々な人とコミュニケーションをとりながら仕事を進めていきます。コミュニケーションをとりながら、粘り強く取り組む方と一緒に仕事をしたいです。

**Q. これから力を入れていきたいことは何ですか。**

**A.** 施工図や工程管理に力を入れていきたいです。現場で使用する図面の作成をし、工事が円滑に進むような工程を組むことができるように頑張りたいと思っています。

## 呉信用金庫

【企業概要】

大正14年、呉市信用組合として設立。呉市に本店を置く唯一の金融機関であり、呉市内に25店舗（出張所含む）、近隣市町に18店舗を展開。地域密着型金融機関として、金融を通じた地域の幸せづくりのお手伝いをしています。



学生：奥 友菜さん

対応者：北野 佑佳さん

**Q. 他の金融機関と比べて信用金庫の強みは何ですか。**

**A.** お客様にとって身近に感じていただける距離感を持ち、地域に根ざした、地域密着型の金融機関であることです。

**Q. お客様からの信頼を得るために大切なことは何ですか。**

**A.** お客様との約束を守ること、お客様に誠実に対応すること、お客様に共感することが大切だと思います。

**Q. 近年、どのような取り組みに力を入れていきますか。また、これから力を入れていきたい取り組みはありますか。**

**A.** 企業の悩みや課題を、お客様と共に解決していく「伴走支援」の取組に力を入れていきます。この取組みの一つに、経営支援クラウドサービス「Hiroshima Big Advance」というサービス（月額制）があります。様々な経営課題をワンストップでトータルサポートするwebプラットフォームです。金融機関の枠を超えた、全国規模のビジネスマッチングから会社ホームページ作成、従業員向けの福利厚生サービスを提供しています。

**Q. 他の金融機関と比べて、入庫する前と後で貴庫に対するイメージが変わったところはあるですか。**

**A.** お客様との距離が近いことだと思います。入庫前は、事

務作業が多い仕事というイメージがありましたが、入庫後は、お客様との会話がとても大切で、お一人お一人しっかりと向き合う仕事が多いと感じています。

**Q. 働く中で、やりがいを感じるのとはどんな時ですか。**

**A.** お客様から信頼され、また感謝していただく時にやりがいを感じます。金融機関の仕事は、お客様の人生に関わる責任ある仕事だと思っています。それだけに、お客様から信頼され、感謝していただいた時は、とてもやりがいを感じます。

**Q. 貴庫が新型コロナウイルスの影響を受けて、変化したところはありますか。**

**A.** 資金繰りの支援を通じて、お客様との連携及び信頼関係は強くなったと思っています。ウィズコロナからアフターコロナに向け、今以上に「伴走支援」の実践力を高めていく必要があると思います。

**Q. 一緒に働きたいのはどのような人ですか。**

**A.** 常に前向きで、物事を広い視野で考えることのできる方、そして誠実さのある方と一緒に働きたいと思っています。



お話を伺ったのは、広島本店建築工事部工事課の津村 慎平さん。インタビューの学校の先輩ということもあり、アットホームな雰囲気です。インタビューに答えてくれました。

### 取材を終えて

今回取材を終えて、建設業という奥の深い業種についてより具体的にイメージを掴むことができました。特に、貴社が地元である広島を拠点としているように、地域に寄り添っていく仕事のやりがいや魅力について興味を湧き、実際に働く上での色々な面も知ることができました。社員の方の意思も尊重しながら運営されているとのこと、非常に社内の雰囲気の良いことを実感しました。貴重な機会をいただき、どうもありがとうございました。



お話を伺ったのは、本店営業部の北野 佑佳さん。地元への愛着と仕事のすばらしさをやさしく丁寧に答えてくれました。

### 取材を終えて

取材を終え、貴庫は地域と一緒に成長している企業であることを知りました。特に、職員の方が常にお客様の気持ちに寄り添った対応を心がけておられる姿がとても印象的で、職員の方の誠実さや小さな心遣いが貴庫が地域の人から信頼されている理由だと感じました。貴重な機会を与えていただき、ありがとうございました。